（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和三年五月三日　磐城新聞　（木曜日）　第二千二百二十八號　（一）

（二日夕刊）

# 磐城新聞

休刊（大祭第一第三日曜）
定價（壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢）
廣告料（雜報欄行五十錢　場所指定二十錢増）
發行兼編輯印刷人　蓬沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

## 思想と經濟の國難

東喜一

◎最近我が日本に於ける思潮中に於て最も著るしいものは、經濟至上主義の思想である。この思想傾向を馴致したに就ては四つの原因を考へることが出來る。第一は明治維新以來武士階級の支配が倒れて町人階級の擡頭となり、漸次それが政治上社會上に支配力を有するに至つたことである。第二は世界の國民競爭が經濟的のものが主力を占め來つたため明治政府以來我が日本も富國を目標とし來り最近段々その方針がこの方向に固定し來つたことである。第三は最近我が日本國民が人口食糧問題に注意を集中し來り殊に生活程度の向上から生活窮迫を痛切に感ずるに至つたことである第四は日本の思想界に經濟關係を一切の社會關係の基礎なりとするマルクス主義の思想が主勢力を占めて居ることである。

◎この四原因中殊に重要にして根深い力を有するものは、この最後のものである。我が學界に於て最も流行して居るものは所謂社會科學なるものであるが、この社會科學者中經濟學者が最も勢力を占め流行新聞雜誌の主要部を領しつゝあるものは全く經濟學說を基礎とする論議である。而して之等の論議は多少濃淡の程度の差こそあれ、マルクス學說の影響を帶びないものはないと言つて差支へないこの流行言論機關の影響で一般思想界に及ばないとは到底考へ得られない。

◎之等の原因はいづれもあれ、吾人は經濟至上主義の思想精神が我が國民腦裡を支配するに至りつゝある現勢に關して憂慮措く能はないものがある。我が本國、性、[illegible]特徵ある美、[illegible]一[illegible]拾ゝ君[illegible]論[illegible]のである。獻身報國は日本國民の精神を支配し來つた三千年來の傳統的信條であり、國民道德の最高目標であつた。然るに經濟至上主義からは獻身報國なる德目は斷じて生れ來らないのみならずこの信條を根本から去勢し頽廢するの危險を孕んでゐるのである。

---

講談

## 闇に閃く男達

（78）

高田浪川作　尾崎雪磨畫

### 寐込みを襲ふ

小兵衛方の知らせにより佐久間武太夫は門弟本田東作、佐藤孫兵衛の兩人をつれて小兵衛方へ來るとそこで夜襲の人選をした。あまり多人數はことが發覺して失敗の基と考へ第一に小兵衛自身に品川の敬次この兩人はむろんのこと三人の浪人はまだ傷療養をしてゐるため相澤兵太のみを加へそれに佐久間武太夫本多東作佐藤孫兵衛に鐵砲の木原熊八郎と子分中の命しらずといわるる朝日の勘造信州無宿の喜造敬次の身内では青梅の傳太やつこの五平等ごうす一名かねて藤兵衛方の樣子をさぐらすと廿三日は何か內祝ひがあり大勢の人が集ると知りそれでは都合が惡い翌廿四日は藤兵衛始め重なるものはどこか賭場へ行くことが分つた、その日こそ屈強なりと現今の時間でいへば夜十一時頃喜造は竊盜もやつた男であるから忍び込みには妙を[illegible]るいでものみといふ格で先づ忍び入らして中の樣子を探らした。

藤兵衛の方では小兵衛や敬次がさう執念深く正春と金五郎とを殺さんと狙つてゐるとは知る由もないそは二三の子分にるすをさせ少しはなれた賭場へと出かけた奥のはなれでは金五郎の傷は全く快癒とまでゆかぬが殆どなほつてきた。正春はまた寢につくも早いと金五郎を相手に武術の話しにふける。

「先生今日迄に馬術にかけては誰が一番の人でございますか劍柔道のことについては歷々うかゞつてをりますが馬術のことだけは一向伺つたこともございません」

金五郎は馬術の話しを持出した

「さうだなすべて武藝は三代將軍家光公の寬永時代が一番盛んであつたとしてゐる、從つて一流に秀た武藝者がたくさん出たものだ馬術では曲垣平九郎、筑紫市兵衛、向井藏人といふ三人が寬永の三名人と呼ばれたその後にもこれ以上の人はあつたか知らねど名前が知られてをらぬ」

「その三人が愛宕の石段を乘り上げたのですか」

「イヤさうでない曲垣平九郎が愛宕の石段を乘上げ乘下して時の將軍より日本一といふおほめの言葉を賜つたそれでその言葉を書いて愛宕神社へ額を奉納した縱が六尺幅が三尺で見ごとなものであるその方もいづれ江戸へ參るであらうからそれを見るとよい」

「ハイ參詣の上せひ見て參ります」

話の中に夜もふけてきたから兩人は床についた。喜造が樣子を窺つた時は兩人とも今寢入りばなであつた

「それぢゃアみなの衆のりこまうぢゃアねえか」

小兵衛は總員に命を下した。

「ヨシサア野郎どもしつかりしねえ」

敬次は自分の子分に注意をする

「オ、合點だッ」

一同はいづれも鯉口をくつろげ目釘には裏と表にしめりをくれ喜造の案內につれて垣根を破り忍び入る

小兵衛は若一裏口から逃られては大變と小兵衛は相澤兵太本田東作信州の喜造やつこの五平が一組となり他一組は品川の敬次に佐久間武太夫佐藤孫兵衛木原熊八郎朝日の勘造青梅の傳太で南と北とに別れ喜造の合圖を待つ喜造は雨戸に耳をよせてジーッと樣子を窺ふとボンヤリあかりはついてゐるが正春と金五郎の兩人は白河夜船の高いびきで熟睡してゐるソレッと小兵衛合圖した

「それ野郎ッやつつけろッ」

小兵衛の言葉の下に雨戸を押やぶつて南北より十一名の荒くれ男が部屋の中へなだれ込んだ

**吉田眼科醫院**

---

# 龍虎相搏つ　短期特別大興行

『修羅王』（幕末大捕物帖）

監督……池田富保
助監督……清瀨英次郎
進行係……西村治三郎
撮影……松村清太郎
進行係……築山光吉
舞臺裝置……安井幸次郎

（配役）

| | |
|---|---|
| 山縣龍次郎 | 河部五郎 |
| 早繩重吉 | 大河內傳次郎 |
| 矢代傳五郎 | 尾上多見太郎 |
| 山縣左治馬 | 兒島三郎 |
| 有原剛三 | 新妻四郎 |
| 島田主馬 | 桂武男 |
| 青柳丑之助 | 市川市丸 |
| 錦木傳藏 | 谷崎十郎 |
| 松川織部正 | 實川延一郎 |
| 小梅淀五郎 | 中村仙之助 |
| 山縣治左衛門 | 尾上卯多五郎 |
| 伊村小彌太 | 嵐珏松郎 |
| 小安淸之進 | 嵐龜三郎 |
| 醫者宗傳 | 嵐璃左衛門 |
| 花房淸三郎 | 葛木香一 |
| 地獄の吉藏 | 尾上華丈 |
| 桐田彌四郎 | 岡崎晴夫 |
| 幸澤彌七 | 市川百之助 |
| 安木藤九郎 | 尾上鶴五郎 |
| 箱屋喜六 | 尾上桃華 |
| 重吉の伜金次 | 中村英雄 |
| 藝者千代香 | 酒井米子 |
| 同　花江 | 櫻木梅子 |
| 重吉女房お絹 | 澤村春子 |
| 左治馬の妻お八重 | 小松みどり |
| お米婆 | 松本靜枝 |
| た吉 | 村瀨輝子 |
| 八房の傳吉 | 市川正之助 |
| 早川慶次 | 尾上蝶次郎 |
| 千草幸藏 | 隼秀人 |
| 築城三五郎 | 市川左雁次 |
| 安村十郎 | 嵐岡君 |
| 菊田藤兵衛 | 淺見勝太郎 |
| 佐伯作之進 | 尾上松昇 |
| 梶村勘十郎 | 川田弘道 |

熱狂的フアンの御熱望に迎へられ
超絶名畫再三の出現、第八藝術の
典型、千古不滅の大帝王篇を見よ

來る三日より

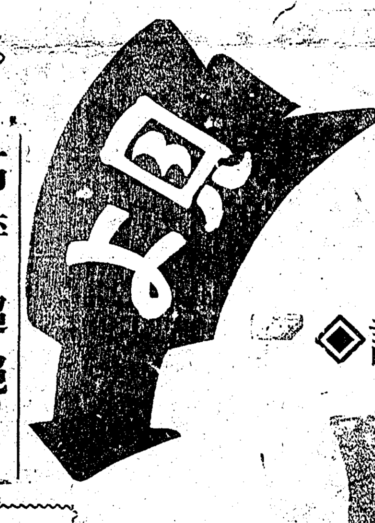
三日間

◇幕末大捕物奇譚◇

浪人？直參？今宵も三つの魂は消えた、倒幕の犧牲は三ツ增したわ、我等の滿願は近づいて來るのだ、寄るなツ、寄れば村正の鍔が鳴るぞツ、觸れば汝の魂は消えるぞ……

説明　石井孝

◇春季名畫大會◇



高評超絶!!
到る處噂話題!!
一世の耳目此處に集る!!
名畫！
再來の時！
陽春の異彩！

阪東妻三郎映畫

◆時は奢侈隨華の美なりし文化の時代が生める旗本代表的デカタンと神出鬼沒の大盜が深謀術策を凝らしての爭鬪何れが捷つか何れが敗るか、阪妻映畫の白眉

**くも**　全十五卷

説明……石井孝

ハロルドロイド映畫

◆パテー社名畫、原名『くよくよするな』
助演　ジヨビナ、フルストン嬢

**巨人征服**　全六卷

映畫のうちに、美と笑と詩を求めんとする人々の爲に此一篇が作られた事を忘れ給ふな

説明……南桃華

日活松竹高級映畫

# 平館

電四六六

萬やむを得ざる

## 當然自衞の處置

江名港收容問題に對し

### 中田組合長の談

石城郡江名濱の漁港は工費三十萬餘圓を投じドック式の理想的な漁港が竣工し來る九日盛大な竣工式を擧行する事となつた旨既報したが最近縣費を以て築成した同港を一般沿岸漁業者の利便に供さす

**江名漁業**組合所屬の漁船のみが獨占し他よりの航廻船に對して極めて冷淡である事は漁港修築の目的に悖るものなりとし江名漁業組合に對し批難攻擊の矢を放つてゐるものあるが右に關し江名漁業組合長中田政吉氏の語る處を聞くと同港は起工當時の設計六千坪であつたものが縣補助金の削減等により三千六百坪に縮少するの止むなき事情に至り、のみならず之れが爲めに地元組合が七萬餘圓外町費二萬餘圓の約十萬圓と云ふ巨費を投じ幾多の犧牲を拂つて竣工したのであるが起工當時に於ては十二馬力乃至十六馬力限度の漁船約二十五六艘に止まつたものが逐年船体、噸數の膨張を來たし現在では六十馬力乃至七十馬力の大型船が卅餘艘の多さに增加したる爲め船舶の收容能力を夥しく狹ばめられ地元關係の漁船を收容する以外如何にしても他の漁船を收容し能はざる事は非常の遺憾であるが素より

**當然自衞**の餘儀なき結果にして江名漁業組合が徒らに他の濱漁船に對して冷淡等の非公德的結果によるものでない旨を熱心に說ゐてゐたが斯くの如く江名漁業組合に對し批難の聲を發するものは徒らに批難せんとす、批難にして各濱の漁業家等は萬止むなき江名漁業組合の處置を肯定してゐるものゝ如くである

## 通學途中の女學生 自動車に轢る

松崎の自動車を練習中

### 一名は生命危篤

平町縣立磐城高等女學校一年生四倉字元町吉田久二女ミツ子（一四）同一年生同町字新町菅波末吉二女エイ子（一四）の兩名は今二日午前六時五十一分平驛着列車で下車し十數名の學友と共に登校の途中平町田町本通り有聲座前街路を通行中

**俄然後方**から驀進し來た自動車が運轉を誤り前記學生の一群中に飛び込んだ爲め遂に兩名を車輪にかけて轢き倒しミツは車輪の下敷となり頭部顏面胴部等に瀕死の重傷エイは左足左手に此れまた可成の重傷其の他二、三の輕傷者を出した急報に依つて平署から鈴木司法主任

**現場に急**行原因其の他を嚴重取調た結果該自動車は平町一丁目松崎自動車店所有第三百五十二號車で運轉手吉田貫一が朝寢をした爲め助手竹內七郎（一九）が自動車を運轉し平驛前で赤井行の旅客を待ち合せ中豫ねて七郎と顏見知り合ひの平町北目町鈴木牛乳店配達夫日高清松（二三）が通り合せて七郎から自動車を借り受け

**練習運轉**を始めた所前記學生の一群を前方に發見したので直ちに方向を轉換せんとしたが及ばずに此の椿事を出したもので日高、竹內の兩名は目下平署で嚴重取調を受けてゐるが戲れの犧牲者となつた吉田ミツ子は直ちに平町字南町上田病院に收容應急加療中だが

**生命危篤**で菅波エイは田町明雲堂に於いて此れまた應急加療中だが全治約二週間を要する見込である

## メーデー記念演說の辯士檢束さる

聽衆は二ヶ所で二百名

### 凋落せる勞働組合

常磐礦山勞働者組合並に日本坑夫組合磐城支部では昨一日のメーデー當日遂に示威行列を廢し午後六時から昨報の如く好間村好樂館、內郷村町田加藤木方の兩所に演說會を開催したが萬一を考慮した

**平警察署**では片寄、伊藤の兩警部補が陣頭に立ち嚴重に取締るべく臨檢中果せる哉、辯士十數名は各れも不穩の言辭を弄した爲め直ちに中止を命ぜられ殊に好間村好樂館に於ける辯士日勞組合本部員可見義雄は臨監の片寄の警部補から

**中止を命**ぜられたのに拘す更らに演說を續けんと反抗的態度に出でた爲め遂に檢束されるに至つたが演說會入場者は內郷五十名、好間百五十名を數へるのみでさしも急激に進展しつゝあつた當地方の勞働運動も不合理なる前後數回の勞働爭議を惹起し勞働者多數を失業せしめた等の事から今や

**全く凋落**したものゝ如くで勞働祭に於ける記念演說會が聽衆二百を超さなかつた事は雄辯に之れを證據立てゝゐる

**訂正**　昨日本紙第二面三段目磐炭人事異動の記事中「筒井三郎」とあるは「筒井磐雄」の誤りに付き訂正す

坑內で作業中

## 坑夫慘死

一名は虫の息

湯本町字八仙入山炭礦坑夫新潟縣岩船郡關谷村生れ松田熊一（三八）石城郡豐間村生れ當時同坑夫志賀辰次（一五）は三十日午後四時頃外數名の坑夫と共に同炭礦第五坑南二電降左十二方に入坑作業中俄然大音響と共に方坪大の落盤の下敷となつて熊一は即死辰次は頭部外全身に瀕死の重傷を負つて昏倒直ちに同坑病院に收容加療中であるが生命は危篤で平署から七海部長出張檢視の上熊一の死体は家人に引渡した

大事な金に詰り

## 役場新築困難

オイソレ起債も出來す

### 平町當局の苦心

平町多年の懸案であつた町役場廳舍の改築問題も既報の如く今は全く狹隘腐朽を見、その要に迫られ理事者も今秋の御大典記念事業として是非決行する意向を有して居たが、同町現在の財政狀態では到底工費の捻出は覺つかなく僅に現廳舍及び敷地の賣却をなして工費に充てんとしてゐるが、これとても工費の全額を得ることは出來ず町債に俟つより外ない有樣であるが、同町では今年度中には第三小學校の新築をせねばならずそれがため十四萬圓餘の町債を起してゐる際更に廳舍新築に町債を起すことも出來ず新築問題もまたして一頓挫を來してゐ

殖ゆる一方の

## 失業者

平紹介所多忙

平職業紹介所昨今の業績に就て見ると附近農村及漁村が繁忙期になつたゝめ附近農漁村からの求職希望者は農閑期のそれに比し激減の傾向にあるがその反對の諸炭礦が昨報の如く行き詰まり失業したものゝ求職者は例月よりは幾分增加の傾向にあるが炭礦から流れ込んだ求職者の就職は目下のところ甚だ困難に、紹介所■も殆とそれには閉口してゐる更に女子の求職者は目下のところ特殊な傾向なく女中の求人は相當あるが求職がこれに伴はない有樣である

## 餡コの盜難

久保田パン屋で

平町南町パン製造業久保田六五郎方では一日未明驛構內賣りのパンを製造せんとした處準備して置いた餡十貫目（價格二十圓）を何者にか竊取されたが平署では品物だけに某方面に目星をつけ犯人逮捕に努めてゐる

## 人間相互無限責任（三）

於入山立國自治會總會席上

### 本多いはらき新聞社長講演要旨

充分に根を張つた大木に花が咲き實が結ぶ、其の實が地上からまた新らしい生命を生んで行く、結んだ實は小さくとも新しく、芽生へた木は親木さへもしのぐ程の大木となり斯くして一本から生れる無數の木は永遠に其の生命を繼いで行くのである、即ち一本の木は無限に亘る力を持つて其の生命を永遠ならしめてゐるのであります。

人間の働きと言ふ事も此れと同樣で身体が死んだからと言つて決して生命がなくなるものではないと思ふ、働きの生命は人生の幸福を永遠ならしめる、哲學者の言分ではないが人の生命は永遠で且つ無限である、人生五十年の娑婆のみで生命がなくなるものでない事を知らば決して詰らない惡心や變拗な邪心が起る筈はないのである、人間と言ふものは決して個立して生命のあるものではなく必らず男女兩性が合致して始めて完全な人間が成立する。

男女一對が出來て始めて共存の關係に入り夫婦親子兄弟の關係が家を爲し遂に國を形成するのでありまして人間は必らず共存でなければならないよく世の中には「俺れ一人さへ好ければ」「俺れ一人が」と言ふ人があるが誤りも甚だしい事で一人では決して生きて行けるものではない。

假りに草箒を見れば上の方は一本だが下の方は殆んど數へ切れない幾千、萬本に分れてゐる即ち上の方から此れを見れば一にして多く下から此れを見れば多にして一、此の草箒は一本であるかと言へば無數である無數であるかと言へば一本である、人間も此れと同樣じ私と言ふ一個の人間も無限のものが固つて私を爲してゐるので決して私一人が私を造つたものではない。

一人の私を此の世の中に生み出した裏には父と母があり其の父にも母にも同樣父母があり其の裏にも父と母があり斯くて私の裏には殆んど數へ切れない私がおり父があり母があつたのです、假りに現在の私から三十代前の父母と私か何人あつたかを數へて見れば十億六千六百九十四萬一千八百廿四人となり、現在の私を生み出す爲めには此れだけの人があつて始めて生み出す事が出來たので決して私一人が如何に努力しても私一個の人間を造り出す事の出來ないのは勿論であります。

人間が先ず廿五才で子供を生むものとして三十代は七百五十年前となり其の七百五十年前にあつた一對の夫婦が十億の自分の生命を傳へた事を考へれば人間の生命は永遠である事は容易に肯づける事ではないか、此の數字が示す事は誰れも動かす事の出來得ない事實であるのに拘はらず流行物の個人主義者とやらが「俺れ一人だ」「俺れさへよければ」と言ふてゐる樣だが此んな事が言へるかどうか此れは單なる直系だけの關係で更らに傍系たる兄弟、姉妹、伯父、伯母等を數へれば全く數へる事の出來得ない無限の數字を示すでありませう。

（つゞく）

## 創業七週年記念に 嶄新な二つの大懸賞

興味の中心に立つ此の方法

### 幸運者は三千圓當選

本社七週年記念事業の一なる懸賞は愈々左の方法により執行する事と致しました、曩きに發表した『寶探し』に代る最も嶄新な愛讀者各位に對し一般的の興味ある方法を選擇いたしましたから御吹聽の上精々奮つて當選の程を御願ひ申上ます。

### △第一の懸賞

◇方法　五月一日發行夕刊（五月二日附）本紙第二面全紙中「漢字の誤字が何字あるか」をハガキに書いて本社懸賞係り宛て御出し下さい

◇締切　五月三日締切り當選者は五月五日夕刊に發表（正確に當てた方が多數の場合は在平日刊有志記者立會抽籤の上當選者一名を決す）

◇懸賞　當選者には割增金三千圓附復興債券十圓券一枚を贈呈（外に平町五丁目山野邊藥局寄贈の副賞）

### △第二の懸賞

◇方法　五月三、四、五の三日に限り平町活動常設平館で興行する特別大映畫會の入場者にして本紙刷込みの（五月一日夕刊より刷込み）割引券を持參入場した方に限り入場の際福引番號券を差上ます

◇抽籤　抽籤は三、四、五の三日間午後九時半同館に於て觀衆中より三名を立合はせた上執行し當選者毎晩三名を決定します

◇懸賞　一等割增金千五百圓附復興債券五圓券一枚（二等）價格三圓位の物品（三等）價格一圓五十錢位の物品を贈呈致します

**磐城新聞社**

## 土壤水質調査

高崎技師赤井へ

石城郡赤井村地先の耕土及水に關し郡山農事試驗場の高崎技師來村して實地調査を行ふ筈であるがこの調査は土壤と水とが作物施肥の奏效上極めて重大なる關係を有してゐるからであると

主人の金を費ひ込み

## 番頭が鐵道自殺

一通の遺書を抱き

### 鎌田山の隧道で

平保線區線路工手組頭島倉酉之助が今二日午前六時頃常磐線下り平草野驛間の線路巡視中鎌田山隧道の中央に首無しの怪轢死体があるのを發見驚いて平署に急報したので佐藤部長現場に

**急行檢視**の結果所持品並に遺書に依つて此の者は山梨縣甲府市柳町生れ當時東京淺草區茅町一町目鰹節問屋秋谷藤助方雇人林征太郎（三五）で遺書に身持が惡く主家の金を費ひ込んだのを悔ひ次ぎの世には眞人間に生れ變つてくる」旨書いておつた

## 乳兒愛護デー

平町で講演會

平町役場では來る五日の乳兒愛護デー當日の執行事業に就き二日午前十時より町役場に關係者の協議會を開いた結果五日午前十時より藤田裁縫女學校で講演會を開く事となつたが講師に醫川醫學士、鈴木積善、川崎文治、佐々光子の諸氏で人形を陳列して參考に供す

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋　（久）釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番　一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は（久）の生命なり

產科婦人科主任トシテ醫學士野秋善直新任ス

赤心堂病院
平町字田町（電話四七五）
外科、耳鼻科、泌尿科　院長　新妻由五郎
產、婦人科　主任　野秋善直
內科　主任　小林四郎
X光線科　主任　木市寅下
藥局

のんですぐきく
クノー散
神經痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のコリ、其他疼痛時服用すれば奏効的確なり
論より證據直ちに試みられよ
定價　二十錢、三十錢、五十錢、一圓
平町各藥店ニテ特約販賣致します

平町
紺屋町
吉田眼科醫院

創業七週年
懸賞福引
五月三、四、五の三日間
平館特別大映畫會
讀者優待券
本券持參の方に限り
金廿錢で入場出來ます
此券引替福引券贈呈
磐城新聞社

（切取線）

創業七週年
懸賞福引
五月三、四、五の三日間
平館特別大映畫會
讀者優待券
本券持參の方に限り
金廿錢で入場出來ます
此券引替に福引券贈呈
磐城新聞社